



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 浅田 茂

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	143,761	19.7	17,652	14.6	19,047	59.0	10,949	36.3
25年3月期第1四半期	120,112	19.2	15,399	13.6	11,981	△4.8	8,032	△12.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 23,617百万円 (134.8%) 25年3月期第1四半期 10,058百万円 (2.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	56.51	55.70
25年3月期第1四半期	43.59	42.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	564,838	368,833	57.7
25年3月期	535,055	329,201	54.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 325,896百万円 25年3月期 289,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	271,000	15.4	29,800	7.4	26,800	16.8	13,700	△14.3	70.40
通期	580,000	17.0	70,000	17.7	65,000	△0.0	35,000	△18.8	179.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	206,944,773 株	25年3月期	206,944,773 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	11,459,063 株	25年3月期	16,531,662 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	193,756,145 株	25年3月期1Q	184,247,022 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) 4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、インドネシアをはじめとするASEAN諸国での継続的な経済成長、中国における成長率の鈍化等がありましたが、収益改善への取り組みや、積極的に進出都市数を拡大したことにより、パーソナルケア関連商品の需要は堅調に推移しました。また、日本国内におきましては、日銀総裁交代後の金融緩和策等による株高や円安から景気を持ち直しも見られましたが、デフレ改善の遅れ等から依然として不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供し続けます”の基本方針に基づき、独自の不織布技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、市場の活性化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高143,761百万円（前年同四半期比19.7%増 為替変動要因を除くと実質前年同四半期比7.9%増）、営業利益17,652百万円（前年同四半期比14.6%増 為替変動要因を除くと実質前年同四半期比1.3%増）、経常利益19,047百万円（前年同四半期比59.0%増）、四半期純利益10,949百万円（前年同四半期比36.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

● ベビーケア関連商品

国内では、独自の不織布技術を活かした商品の開発に努めてまいりました。『ムーニー』では、世界で初めて※¹赤ちゃんの体の丸い骨格に合わせたやわらかなカーブの形状を採用した『ムーニーエアフィット』を発売し、革新的な新価値提案を実施した他、股ぐりギャザーに「日本最高（さいたか）あんしんガード※²」を採用した『マミーポコ』シリーズの2ブランドと共に販売促進を積極的に行い、ブランド力の強化を図ってまいりました。

海外では、インドネシアの中間層向け紙オムツ『Mamy Poko Standar』や、タイの昼専用紙オムツ『Mamy Poko Happy Pants』等、各国のニーズに対応した商品の販売促進に取り組んだ結果、市場シェアが拡大し、引き続き業績が拡大しました。また、重要市場である中国におきましては、競合他社の参入等により市場競争が激しくなりましたが、順調に販売エリアを拡大し、業績が安定的に推移しました。

※¹ ウエストとクロッチの伸縮シートと吸収体に設けた切りかけにより紙オムツを立体的にする構造

主要グローバルブランドにおけるベビー用テープ型オムツ対象 平成24年9月ユニ・チャーム調べ

※² 日本国内の主要紙オムツにおいて 平成24年8月ユニ・チャーム調べ

● フェミニンケア関連商品

国内では、市場が縮小傾向の中、独自の不織布技術を活かした高付加価値商品の浸透に努めてまいりました。『ソフィ 超熟睡ガード 涼肌（すずはだ）』シリーズでは通気性を従来品比よりもアップ※¹させた商品を発売した他、『センターイン コンパクトスリム』のパッケージと個別ラップをポップで明るい2色の“ネオンカラー”に刷新した商品を発売し、販売促進に取り組んだ結果、業績が安定的に推移しました。

海外では、重要市場である中国の若年層からデザインのかわいらしさと商品の品質の高さに対して高いご支持を頂き、業績が大幅に向上しました。

※1 既存の超熟睡ガードとの比較

●ヘルスケア関連商品

高齢化の進展で、成長続くヘルスケア国内市場において、ライナータイプの『チャームナップ』シリーズとナプキンタイプの『ライフリーさわやかパッド』シリーズの2ブランドで軽失禁・尿ケア市場の成長をリードしてまいりました。また、テレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて介護用品『ライフリー』シリーズの販売促進にも積極的に取り組んだ結果、市場シェアが拡大し、引き続き業績が拡大しました。

●クリーン&フレッシュ関連商品

住環境の変化に加え、家庭内や日用品でも香りを楽しみたいというお客様が増えている中、家中を簡単に楽しくお掃除をして頂けるよう、『ウェーブ ハンディワイパー』に、香り付きの『ウェーブハンディワイパー グリーンの香り』をラインアップに追加し、市場の活性化を図った結果、業績が拡大しました。

この結果、パーソナルケアの売上高は123,582百万円（前年同四半期比23.0%増）、セグメント利益（営業利益）は17,312百万円（前年同四半期比23.4%増）となりました。

②ペットケア

消費者ニーズを捉えた商品の開発と市場創造に努め、国内ペット飼育の5大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」「健康重視」を踏まえた商品のセグメンテーションを通じて市場の活性化と販売促進に取り組んでまいりました。

国内ペットフードでは、猫の嗜好性の多様化と健康志向に応えた商品等を発売した他、市場が成長している犬種別フードの発売により市場の活性化に取り組んでまいりました。

ペットトイレタリーでは、独自の不織布技術を活かし、ペットオーナー様のニーズに応えた商品の販売促進に取り組んだ結果、業績が安定的に推移しました。

アメリカHartz社においては、ユニ・チャームの技術を活用した犬用シートの販売促進に取り組んでまいりました。

この結果、ペットケアの売上高は18,852百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益（営業利益）は217百万円（前年同四半期比82.9%減）となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、産業用資材を中心に販売を進めました。

この結果、その他の売上高は1,326百万円（前年同四半期比11.3%減）、セグメント利益（営業利益）は115百万円（前年同四半期比29.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は564,838百万円(前連結会計年度比5.6%増)となりました。主な増加は、現金及び預金12,923百万円、機械装置及び運搬具(純額)7,540百万円であり、主な減少は、有価証券△8,099百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は196,004百万円(前連結会計年度比4.8%減)となりました。主な増加は、未払費用の増加等によるその他流動負債4,816百万円、支払手形及び買掛金4,235百万円であり、主な減少は、転換社債型新株予約権付社債△18,543百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は368,833百万円(前連結会計年度比12.0%増)となりました。主な増加は、自己株式の減少13,203百万円、当第1四半期純利益10,949百万円、為替換算調整勘定7,418百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間における自己資本比率は57.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成25年4月30日発表と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,321	87,244
受取手形及び売掛金	60,349	62,485
有価証券	11,212	3,112
商品及び製品	26,254	27,624
原材料及び貯蔵品	17,669	20,450
仕掛品	861	986
その他	20,145	22,123
貸倒引当金	△85	△85
流動資産合計	210,728	223,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,695	46,586
機械装置及び運搬具(純額)	79,177	86,717
その他(純額)	39,256	43,875
有形固定資産合計	163,129	177,179
無形固定資産		
のれん	76,686	79,118
その他	20,707	21,384
無形固定資産合計	97,394	100,502
投資その他の資産		
前払年金費用	5,615	5,695
投資有価証券	19,664	21,686
繰延税金資産	36,616	33,897
その他	2,070	2,021
貸倒引当金	△164	△87
投資その他の資産合計	63,803	63,213
固定資産合計	324,326	340,896
資産合計	535,055	564,838

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,185	57,421
短期借入金	6,228	6,055
未払法人税等	3,234	4,758
賞与引当金	4,335	2,388
その他	54,562	59,378
流動負債合計	121,547	130,002
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	53,333	34,790
長期借入金	23,000	23,000
退職給付引当金	2,925	3,251
その他	5,048	4,960
固定負債合計	84,306	66,002
負債合計	205,854	196,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	29,782	36,262
利益剰余金	275,609	283,322
自己株式	△43,030	△29,826
株主資本合計	278,354	305,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,635	8,961
繰延ヘッジ損益	△20	△32
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	3,955	11,373
その他の包括利益累計額合計	11,413	20,144
新株予約権	677	522
少数株主持分	38,755	42,414
純資産合計	329,201	368,833
負債純資産合計	535,055	564,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	120,112	143,761
売上原価	65,536	78,440
売上総利益	54,575	65,320
販売費及び一般管理費	※1 39,176	※1 47,667
営業利益	15,399	17,652
営業外収益		
受取利息	184	346
受取配当金	132	138
為替差益	—	1,398
その他	111	412
営業外収益合計	429	2,297
営業外費用		
支払利息	102	87
売上割引	1,300	760
為替差損	2,389	—
その他	54	54
営業外費用合計	3,847	902
経常利益	11,981	19,047
特別利益		
固定資産売却益	21	3
その他	5	—
特別利益合計	27	3
特別損失		
固定資産処分損	32	169
事業構造改善費用	※2 28	—
その他	1	30
特別損失合計	62	199
税金等調整前四半期純利益	11,946	18,851
法人税、住民税及び事業税	2,249	4,136
法人税等調整額	16	1,742
法人税等合計	2,266	5,878
少数株主損益調整前四半期純利益	9,680	12,973
少数株主利益	1,647	2,024
四半期純利益	8,032	10,949

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,680	12,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△339	1,325
繰延ヘッジ損益	8	△12
為替換算調整勘定	710	9,331
その他の包括利益合計	378	10,643
四半期包括利益	10,058	23,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,644	19,680
少数株主に係る四半期包括利益	1,413	3,936

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)																																																								
<p>※1 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <table> <tr> <td>販売運賃諸掛</td> <td>5,633百万円</td> <td>販売運賃諸掛</td> <td>7,055百万円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td>15,975百万円</td> <td>販売促進費</td> <td>20,480百万円</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td>3,528百万円</td> <td>広告宣伝費</td> <td>4,076百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与・賞与</td> <td>3,525百万円</td> <td>従業員給与・賞与</td> <td>4,225百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>912百万円</td> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>909百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>380百万円</td> <td>退職給付費用</td> <td>341百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>485百万円</td> <td>減価償却費</td> <td>585百万円</td> </tr> </table>	販売運賃諸掛	5,633百万円	販売運賃諸掛	7,055百万円	販売促進費	15,975百万円	販売促進費	20,480百万円	広告宣伝費	3,528百万円	広告宣伝費	4,076百万円	従業員給与・賞与	3,525百万円	従業員給与・賞与	4,225百万円	賞与引当金繰入額	912百万円	賞与引当金繰入額	909百万円	退職給付費用	380百万円	退職給付費用	341百万円	減価償却費	485百万円	減価償却費	585百万円	<p>※1 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <table> <tr> <td>販売運賃諸掛</td> <td>7,055百万円</td> <td>販売運賃諸掛</td> <td>7,055百万円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td>20,480百万円</td> <td>販売促進費</td> <td>20,480百万円</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td>4,076百万円</td> <td>広告宣伝費</td> <td>4,076百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与・賞与</td> <td>4,225百万円</td> <td>従業員給与・賞与</td> <td>4,225百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>909百万円</td> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>909百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>341百万円</td> <td>退職給付費用</td> <td>341百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>585百万円</td> <td>減価償却費</td> <td>585百万円</td> </tr> </table>	販売運賃諸掛	7,055百万円	販売運賃諸掛	7,055百万円	販売促進費	20,480百万円	販売促進費	20,480百万円	広告宣伝費	4,076百万円	広告宣伝費	4,076百万円	従業員給与・賞与	4,225百万円	従業員給与・賞与	4,225百万円	賞与引当金繰入額	909百万円	賞与引当金繰入額	909百万円	退職給付費用	341百万円	退職給付費用	341百万円	減価償却費	585百万円	減価償却費	585百万円
販売運賃諸掛	5,633百万円	販売運賃諸掛	7,055百万円																																																						
販売促進費	15,975百万円	販売促進費	20,480百万円																																																						
広告宣伝費	3,528百万円	広告宣伝費	4,076百万円																																																						
従業員給与・賞与	3,525百万円	従業員給与・賞与	4,225百万円																																																						
賞与引当金繰入額	912百万円	賞与引当金繰入額	909百万円																																																						
退職給付費用	380百万円	退職給付費用	341百万円																																																						
減価償却費	485百万円	減価償却費	585百万円																																																						
販売運賃諸掛	7,055百万円	販売運賃諸掛	7,055百万円																																																						
販売促進費	20,480百万円	販売促進費	20,480百万円																																																						
広告宣伝費	4,076百万円	広告宣伝費	4,076百万円																																																						
従業員給与・賞与	4,225百万円	従業員給与・賞与	4,225百万円																																																						
賞与引当金繰入額	909百万円	賞与引当金繰入額	909百万円																																																						
退職給付費用	341百万円	退職給付費用	341百万円																																																						
減価償却費	585百万円	減価償却費	585百万円																																																						
<p>※2 事業構造改善費用</p> <p>事業構造改善費用は、パーソナルケアセグメントに係る事業再編関連費用であります。</p>	—————																																																								

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の権利行使による株式転換を実施しております。

この結果、自己株式が12,420百万円減少、資本剰余金が6,120百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	100,509	18,106	1,496	120,112	—	120,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3	3	△3	—
計	100,509	18,106	1,499	120,115	△3	120,112
セグメント利益(営業利益)	14,029	1,274	89	15,393	5	15,399

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	123,582	18,852	1,326	143,761	—	143,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	9	9	△9	—
計	123,582	18,852	1,336	143,771	△9	143,761
セグメント利益（営業利益）	17,312	217	115	17,646	6	17,652